

広島県経済の動向

令和5年4月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	1月	2月	3月
基調判断	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している		景気は、一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している
輸 出	このところ弱含んでいる		弱含んでいる
生 産	持ち直しの動きに足踏みがみられる		このところ弱含んでいる
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	持ち直している		
個人消費	緩やかに持ち直している		
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している		総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている

(2) 先行き

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和5年3月22日公表）】

2 広島県経済の動向

(1)概要

指 標	R5年		
	1月	2月	3月
基調判断	緩やかに持ち直している		
輸 出	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直している	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある	
生 産	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直している	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある	持ち直しのペースが鈍化している
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	持ち直しつつある		持ち直している
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている		

(2)県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、海外経済の動向などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和5年4月3日公表）】

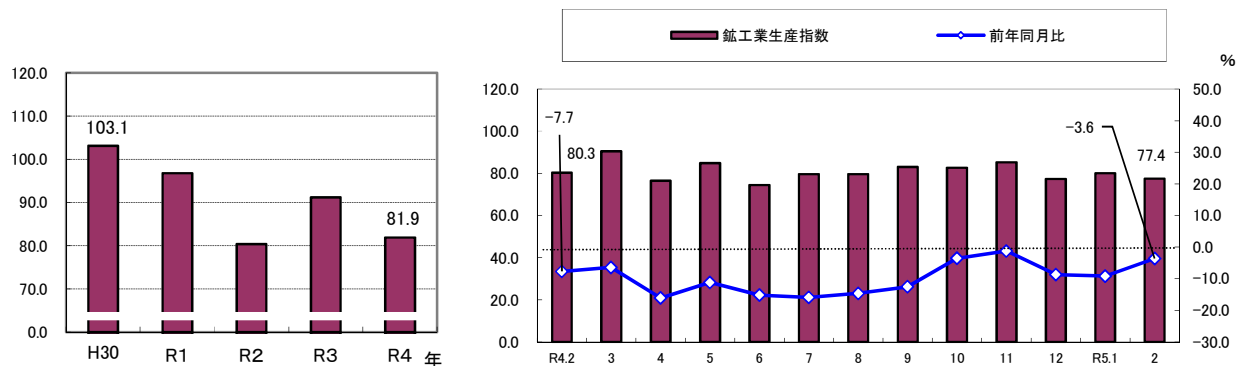
Ⅱ 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和5年2月)

2月の鉱工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は77.4で, 前年同月比で3.6%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】

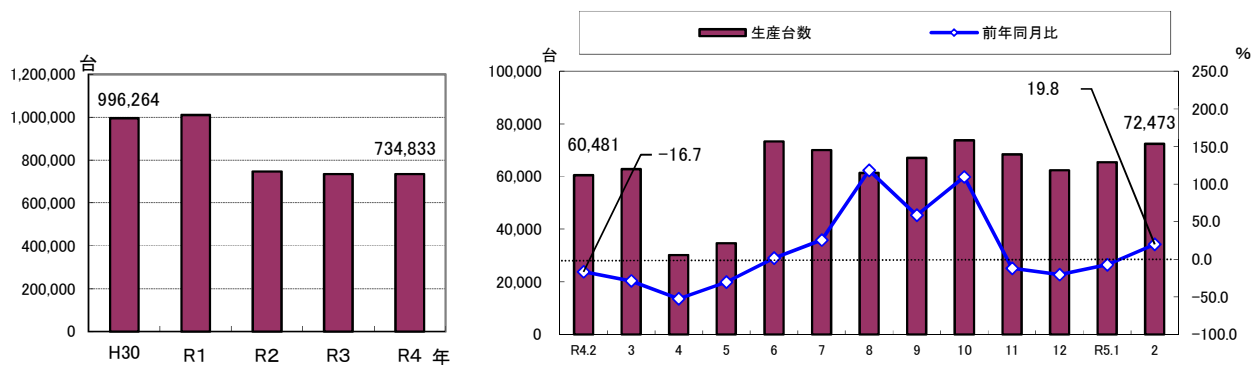


2 自動車(令和5年2月)

2月の国内生産台数は72,473台で, 前年同月比で19.8%増加となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

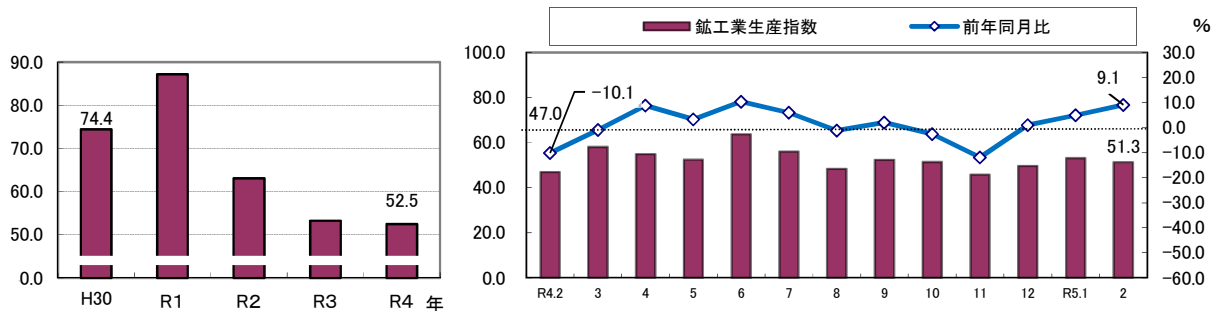


3 造船(令和5年2月)

2月の鉱工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は51.3で, 前年同月比で9.1%増加となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】

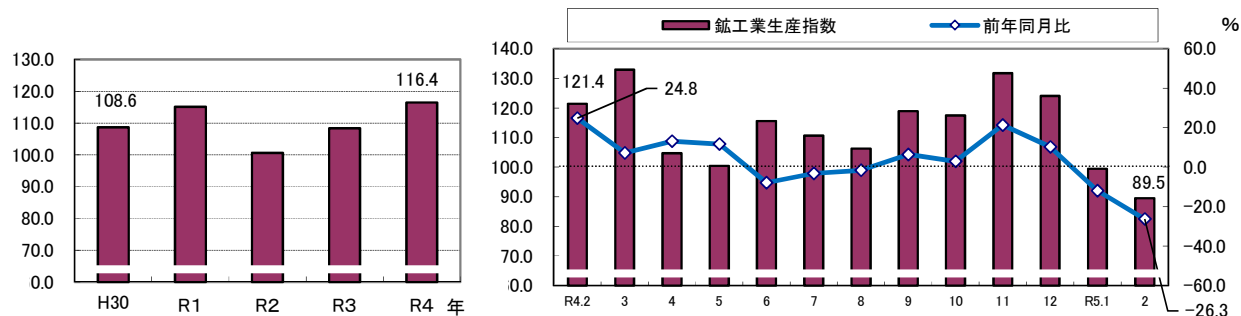


4 一般機械(令和5年2月)

2月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は89.5で, 前年同月比で26.3%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】

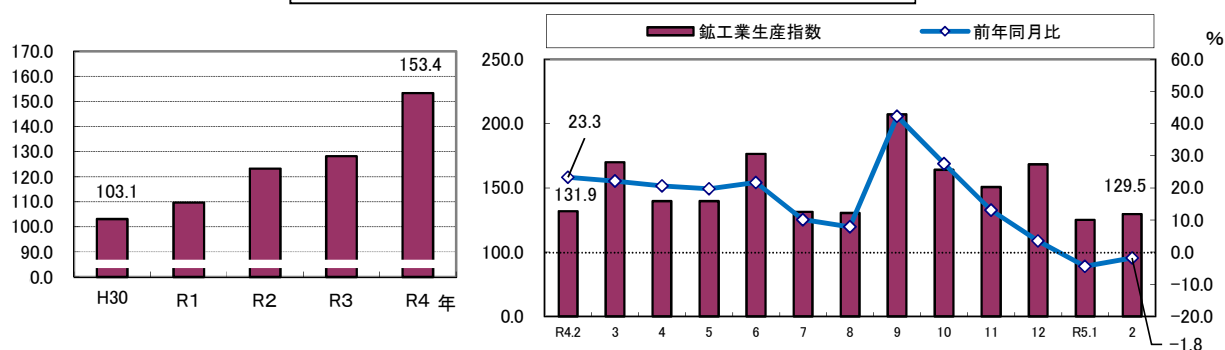


5 電気機械(令和5年2月)

2月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は129.5で, 前年同月比で1.8%減少となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和5年2月)

【広島県中小企業団体中央会（令和5年3月15日時点）】

1 概況

多くの事業者が、原材料、電気代等の高騰によるコスト上昇に対して、十分な価格転嫁が実現出来ておらず、収益性の悪化に陥っていることが窺える。加えて、慢性的な人材不足、最低賃金の引き上げ等に伴う人件費の上昇など、中小企業の取り巻く状況は依然として厳しい状況が続いている。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比+20.3%と6ヶ月連続で増加。マツダ車は+19.8%となった。

木材業界では、全国の令和5年2月の新設住宅着工戸数は64,426戸で前年同月比▲0.3%。広島県内の着工戸数は1,664戸で、前年同月比+34.0%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「2月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は2月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	1月の景況感	2月の景況感
食料品	やや悪い	普通
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	普通
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	普通
金属製品	普通	普通

業種	1月の景況感	2月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや好況	普通
自動車部品	普通	普通
造船	普通	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	1月	2月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	0	▲ 1
普通	7	10	3
やや悪い	11	9	▲ 2
悪い	1	1	0

3 前月(1月)から変化のあった主な業種

業種	1月の 景況感	2月の 景況感	変化の理由・状況
食料品	やや悪い	普通	・ 原材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。特にたまごの価格高騰の影響が大きい。人材不足，原材料高騰など，厳しい状況がしばらく続く見通し。 【広島県東部菓子商工業協同組合】
電気機械器具	やや好況	普通	・ 増加していた受注残の消化により，売上は前月比，前年同月比5%増加となった。また，大手取引先等から賃金引き上げを発注単価に反映させるとの通知が出てきており，大企業だけでなく中小企業においても賃金引き上げを実施するケースが見られる。 【広島県東部機械金属工業協同組合】

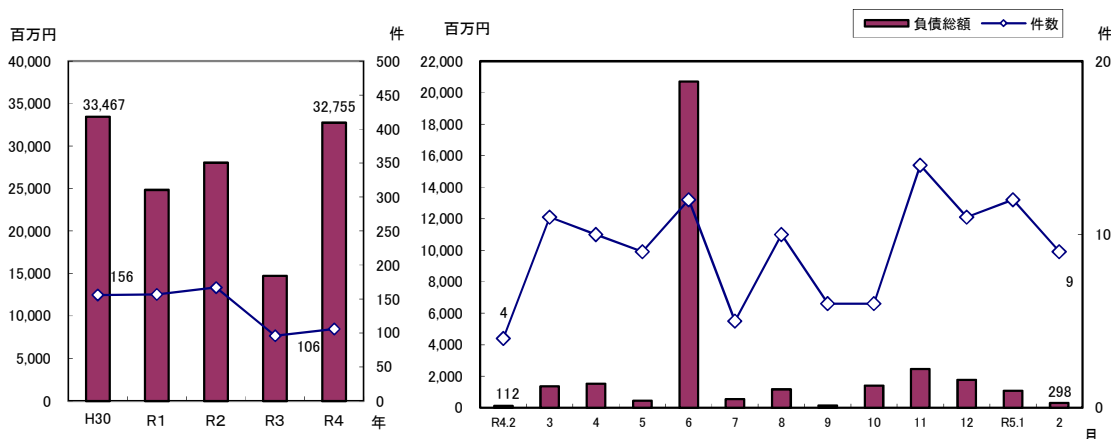
Ⅳ 企業倒産状況(令和5年2月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が9件、総額2億9,800万円であった。
- ・前月比で件数は3件減少し、負債総額は7億7,200万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は5件増加し、負債総額は1億8,600万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月
件 数 (前年同月比)	11件 (120.0%増)	12件 (50.0%増)	9件 (125.0%増)
負債総額 (前年同月比)	1,759百万円 (25.6%増)	1,070百万円 (8.39%減)	298百万円 (166.1%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、建設業が4件、卸・小売・飲食業、サービス業が各2件、製造業が1件となった。負債総額では、製造業、建設業、卸・小売・飲食業、サービス業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が6件、放漫経営が2件、その他が1件であった。

4 今後の見通し

令和5年2月度の倒産件数は9件と前年同月比4ヵ月連続の増加となったが、令和2年5月以降34ヵ月連続で20件以下の低水準となっている。ただ、令和4年11月以降の月間倒産件数が4ヶ月連続で前年同月比を上回るなど徐々に倒産の増加が見受けられる。

業歴別倒産状況では20年以上30年未満が3件、10年以上20年未満が2件と業歴10年以上の倒産が全体の55.5%を占め、前月1月度では業歴10年以上の倒産が全体の75.0%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が6件で最多で、既往のシワ寄せ、売掛回収難を合計した不況型倒産は6件で全体の66.7%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は2月度9件中4件発生し、これまでの累計は114件（負債総額1,000万円以上）となり、倒産に占める新型コロナウイルス関連倒産の割合は高まりつつある。

令和2年5月以降、倒産件数は低水準で推移しているが、令和4年3月に「事業再生ガイドライン」が公表され、令和5年の通常国会への法案提出を目指して「私的整理の法制化」が議論されており、私的整理（再建型、廃業型）に注目が集まる。ただ、私的整理は基本的に金融債務（※一部例外有り）のみを対象とし、非公開を原則とするため、商取引上の債権者は事業再生がどの程度まで進んでいるか分りにくい。過去の私的整理では、取引を継続したくても情報不足で与信枠の設定や維持に取引先が苦慮するケースも散見された。

今後、私的整理が増加した場合、法的手続きが行われないため、倒産集計には計上されず、実質破綻先が増えていく懸念がある。コロナ禍の出口戦略の大きな課題でもある私的整理は、その利点とともに取引先への誠実な対応が欠落することのマイナス面も忘れてはいけない。

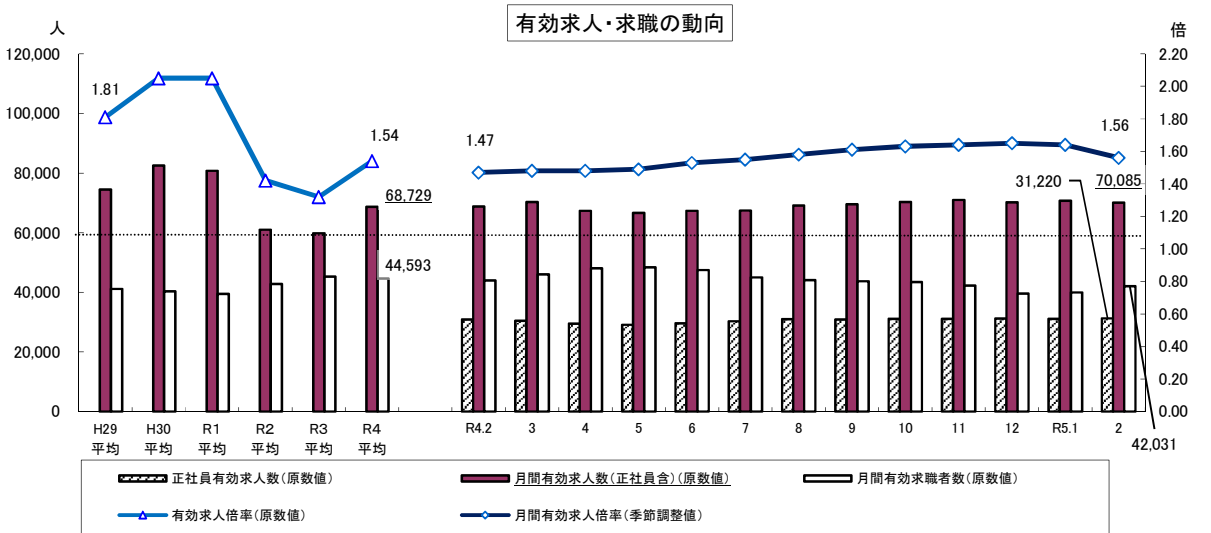
【(株)東京商工リサーチ(3月14日時点)】

V 最近の雇用失業情勢(令和5年2月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.65倍 (+0.01ポイント)	1.64倍 (▲ 0.01ポイント)	1.56倍 (▲ 0.08ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.33倍 (+0.15ポイント)	1.29倍 (+0.12ポイント)	1.24倍 (+0.07ポイント)

【広島労働局】

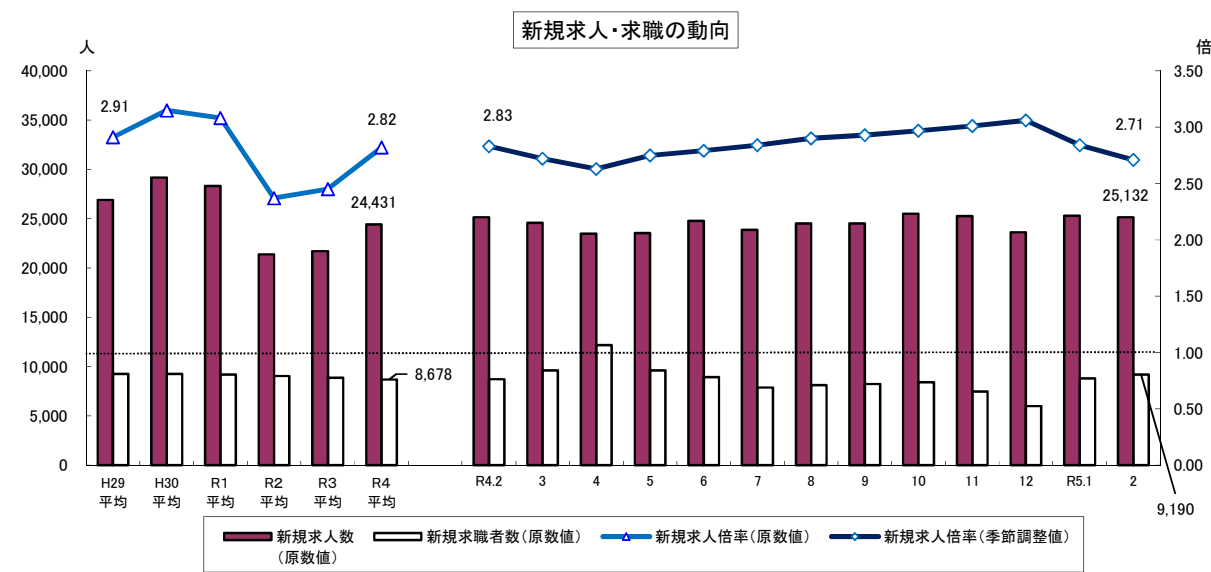


(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。
(注3) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	3.06倍 (+0.05ポイント)	2.84倍 (▲ 0.22ポイント)	2.71倍 (▲ 0.13ポイント)

【広島労働局】

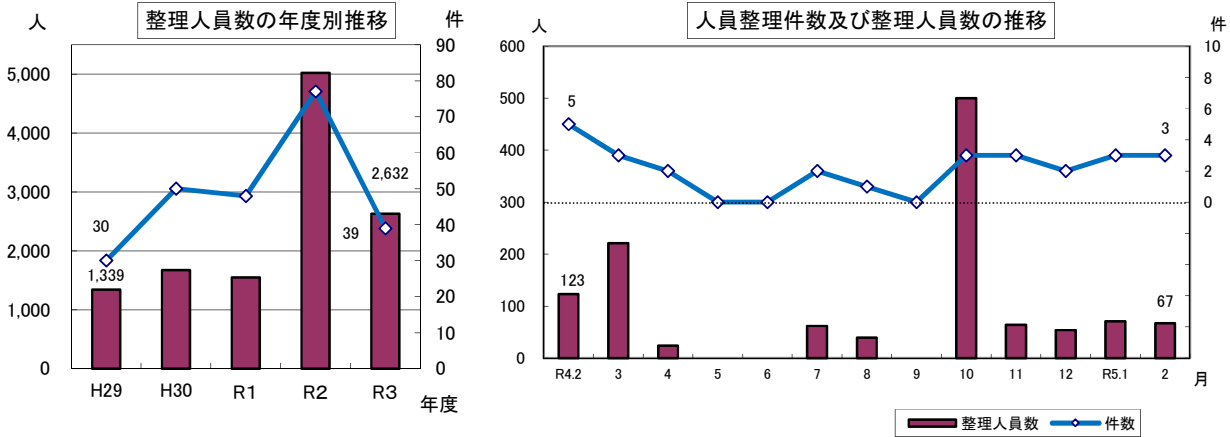


(注) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月
件数 (前年同月比)	2件 (▲ 1件)	3件 (± 0件)	3件 (▲ 2件)
整理人員 (前年同月比)	54人 (▲ 142人)	71人 (▲ 6人)	67人 (▲ 56人)

【広島労働局】

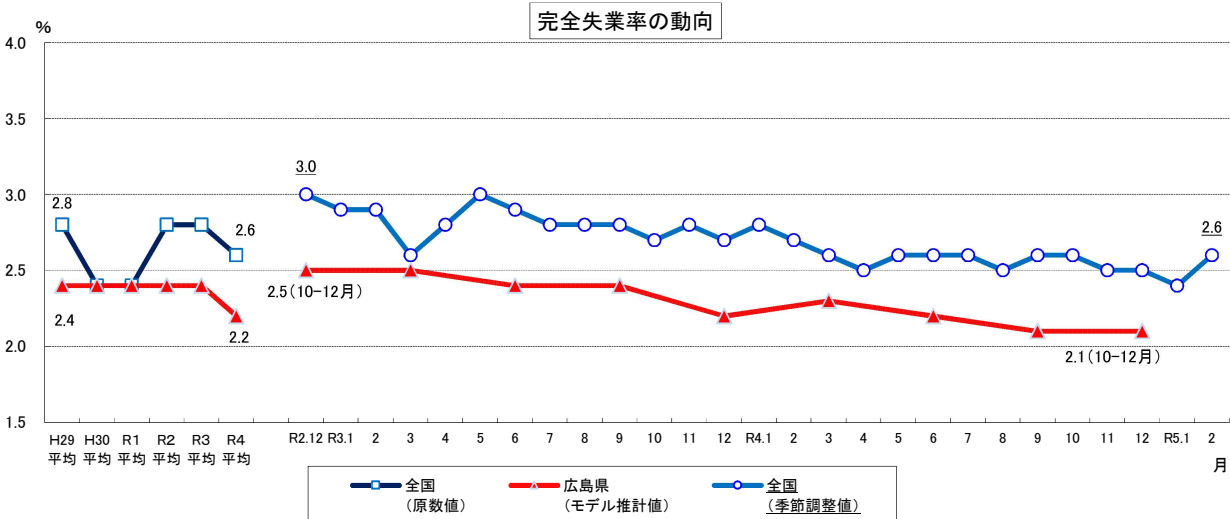


4 完全失業率の状況(全国・県内)

区 分	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月
全国完全失業者数 (前年同月比)	158万人 (▲15万人)	164万人 (▲21万人)	174万人 (▲6万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.5% (±0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.6% (+0.2ポイント)

区 分	令和4年		
	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.2% (▲0.2ポイント)	2.1% (▲0.3ポイント)	2.1% (▲0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。